<概要資料>第二次都市交通マスタープラン（素案）

1．計画策定の背景と目的

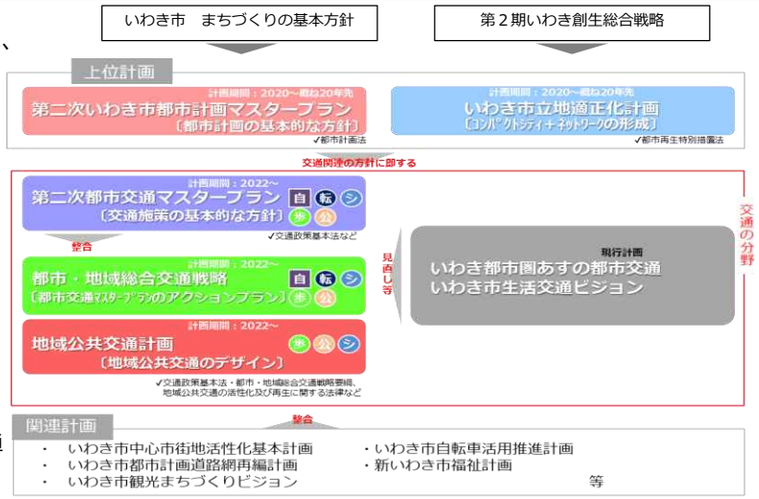
- 社会経済情勢（人口減少・少子高齢化等）への対応やコンパクトなまちづくりへの転換が必要
- 今後20年で、市が目指すべき交通体系の方針を明らかにし、ﾈｯﾄﾜｰｸ型ｺﾝﾊﾟｸﾄｼﾃｨを推進

2．計画の位置づけ

●第二次都市交通マスタープランは、上位計画である「第二次いわき市都市計画マスタープラン」と「立地適正化計画」の交通関連の方針に即しながら、**いわき都市圏全体の交通施策の基本的な方針**を定めます

●第二次都市交通マスタープランに基づく施策は、「都市・地域総合交通戦略」や「地域公共交通計画」で設定し、関係機関と協働・連携して分野横断的に取り組みます

※都市・地域総合交通戦略と地域公共交通計画は、現在策定作業中



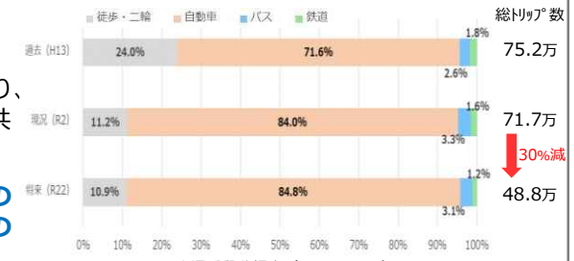
3．都市交通の課題と必要な取り組み

交通実態調査や将来の交通量予測などから見えてきた交通課題と必要な取り組みは次の通りです

1）公共交通機関への転換/乗り換え利便性の向上

今後の急速な人口減少や高い自動車分担率により、路線バスさらなる利用者の減少が予想され、公共交通サービスの維持が課題となっています

➡**公共交通の利用促進や意識の醸成、官民共創のモビリティマネジメントの他、乗り換え時間の効率化などの利便性の強化が必要です**

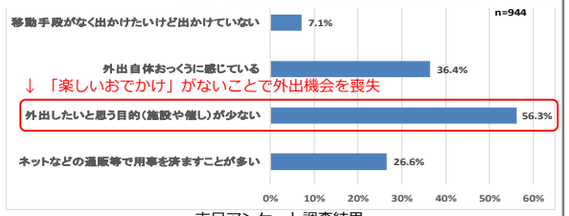


交通手段分担率（2001-2040）
※過去、現況は交通実態調査の結果、将来は将来予測による推計値

2）道路空間の利活用/再構築による賑わいの創出

外出したいと思える目的・催しがないことが外出頻度に影響しています

➡**都市のコンパクト化と同時に道路空間の利活用や再構築などを行い、「楽しいおでかけ」のあるまちづくりを進めることが必要です**



市民アンケート調査結果

3）拠点間ネットワークの強化/主要幹線道路における渋滞・事故対策

市内では広域幹線道路のネットワークが構築されているが、市街地では慢性的な渋滞が発生してます

➡**道路改良やTDMの活用、ソフト対策により渋滞対策や自動車交通量を減らす取り組みとともに、多様な交通手段の確保による拠点間を行き来しやすい環境整備が必要です**

平均速度の将来予測結果（2040年）

4）災害に強い道路整備・維持管理

近年、激甚化する自然災害が頻発しています

➡**橋梁の耐震化や無電柱化などによる災害に強い道路ネットワークの構築が必要です**

5）選択と集中による持続可能な交通体系の確保

今後とも厳しい財政状況となることが見込まれます

➡**交通需要に見合った選択と集中による戦略的な取り組みが必要です**

4．将来交通計画

将来交通計画の検討の視点

まちづくり	公共交通	安全・安心	持続可能性
将来都市構造を踏まえた拠点間ネットワーク環境の改善	誰でも気軽に移動できる交通体系の構築	平時・有事を問わず人流・物流を支える交通体系の構築	将来にわたっても持続可能な交通体系の構築

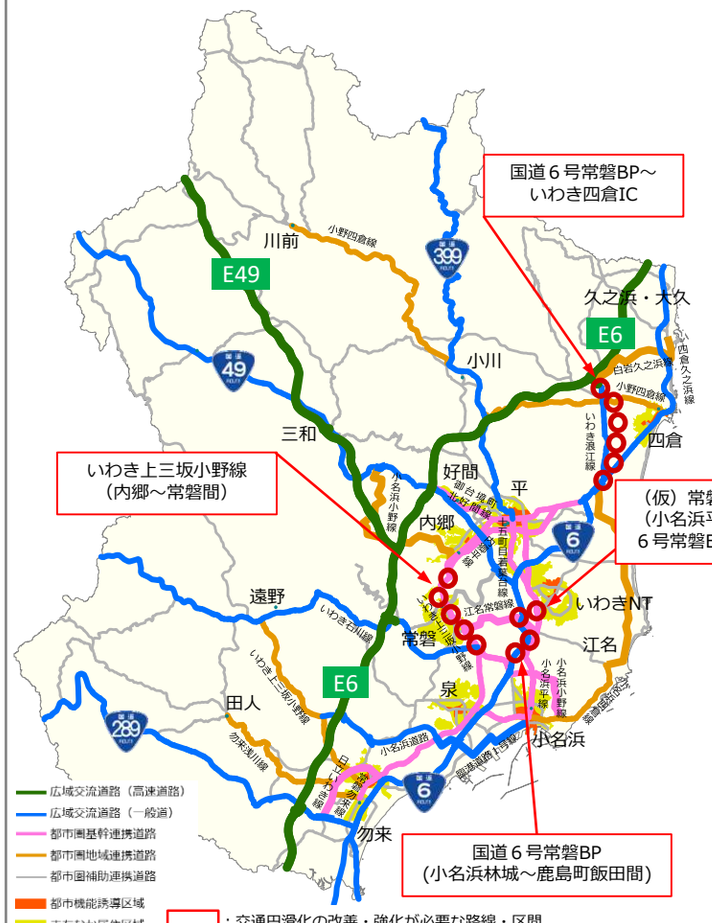
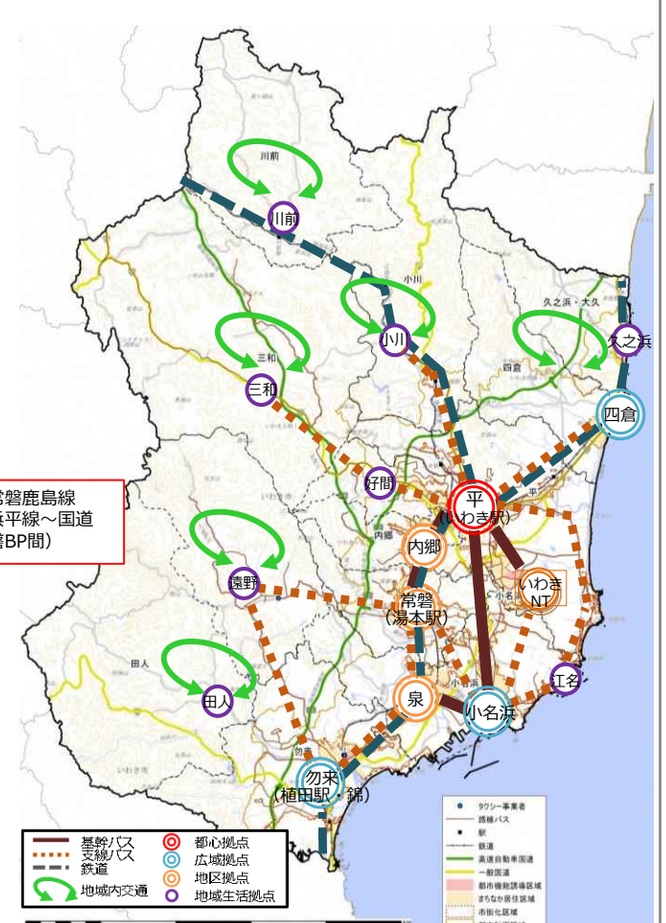
目標・方針等を設定

基本目標：**まちづくりと連携した交通体系の構築によるネットワーク型コンパクトシティIwakiの実現**

対象区域：いわき都市圏（市内全域）
目標年次：2022年から概ね20年後

基本方針	施策の方向性	主な具体的施策
①交流・活力・楽しい 人々が集い活動を育む交通体系の構築	主要拠点をつなぐ交通ネットワークの強化	主要幹線道路の整備、基幹公共交通ネットワークの定時性・速達性の確保 など
	主要拠点と地区拠点をつなぐ交通ネットワークの構築	拠点間ネットワークの充実・強化 など
	市街地における賑わいと憩いを生む交通環境の整備	まちづくりと連携した魅力的な道路空間の創出 など
②快適・便利 誰もが気軽に移動できる交通体系の構築	移動の円滑化に向けた道路環境の整備	まちづくりと連携した交通結節点の整備、主要渋滞箇所の解消 など
	選ばれる移動手段として公共交通の利便性の向上	路線バス・鉄道の利便性、快適性の向上 など
	すべての人にやさしい交通環境の整備強化	公共交通のﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化、Massの構築・普及、中山間地域の地域内交通の提供 など
	ICT等の先進技術を活用した交通システムの構築	ICT技術の活用による公共交通システムの高度化 など
③安全・安心 市民の日常生活を支える交通体系の構築	安心して生活できる交通環境の整備	生活道路の整備、危険な踏切の解消 など
	交通事故の減少につながる交通環境の整備	渋滞対策の推進、通学路の安全対策 など
	災害等の緊急時に対応した交通環境の確保	災害に強い道路整備、円滑な避難・救援を支える道路ネットワークの強化 など
④持続可能性 持続可能な交通体系の構築	環境負荷の低減に資する交通環境の構築	官民連携によるモビリティマネジメント、シェアリングエコノミーの推進 など
	行政負担の適正化に資する交通網の構築	道路網の見直し、LCCを考慮した施設の長寿命化 など
	効果的・重点的な道路網の構築	選択と集中による計画的な道路整備 など
	市民・行政・交通事業者等の連携に向けた体制強化	交通関連データのオープン化 など

◎道路ネットワーク



◎公共交通ネットワーク